

ゆいのもり通信

NO.10

2003年9月1日発行

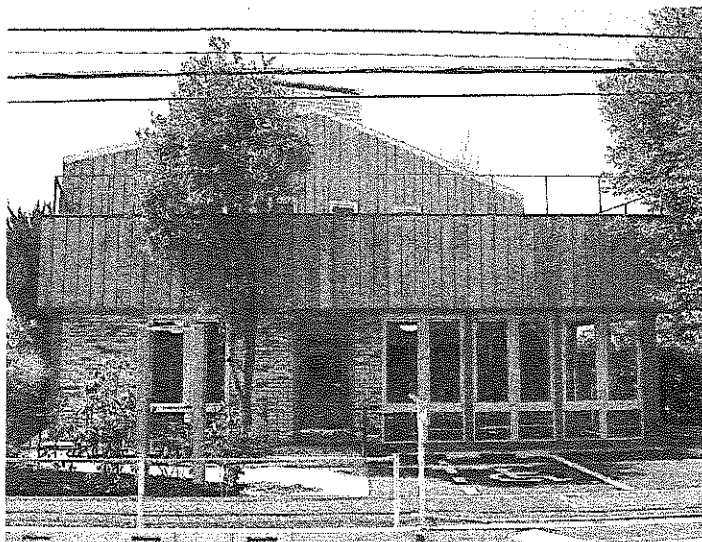
ゆいのもり編集委員会

東京都昭島市田中町1-1-9

TEL042-545-5451

食工房ゆいのもり開所

この度、社会福祉法人ゆいのもり福祉協会は、精神障害者通所授産施設食工房ゆいのもりを開設しました。これにより、ゆいのもり3作業所は、1つの授産施設(社会福祉法人ゆいのもり福祉協会運営)と2つの共同作業所(ゆいのもり運営委員会運営)へと形を変えました。

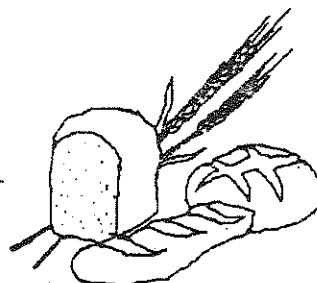


茶色い、木造の建物です。

皆様には、授産施設建設に際し多大なご支援を頂き、誠にありがとうございました。

今後も、より多くの精神障害者への生活支援・就労支援に取り組んで参りますので、宜しくお願いいたします。

また、食工房ゆいのもりのパン屋とカフェに一度遊びにおいでください。



—食工房ゆいのもり—

カフェとパン屋

■パン 天然酵母直焼きブレッド(クランベリーくるみ・レーズン・ブルーベリー)、食パン、バターロール、シナモンロール、アンパン、チーズクッペ、クリームパン、メロンパン、季節メニューパン等

各100円～320円

■飲み物 無農薬有機栽培コーヒー、紅茶、オレンジジュース、アップルジュース

各250円～300円

■営業時間 月曜日～木曜日 パンは12:00～17:00

カフェは12:00～15:00

■住所 昭島市上川原町1-9-15(緑街道、昭島警察署並び)

■電話 042-542-5160または042-500-5152

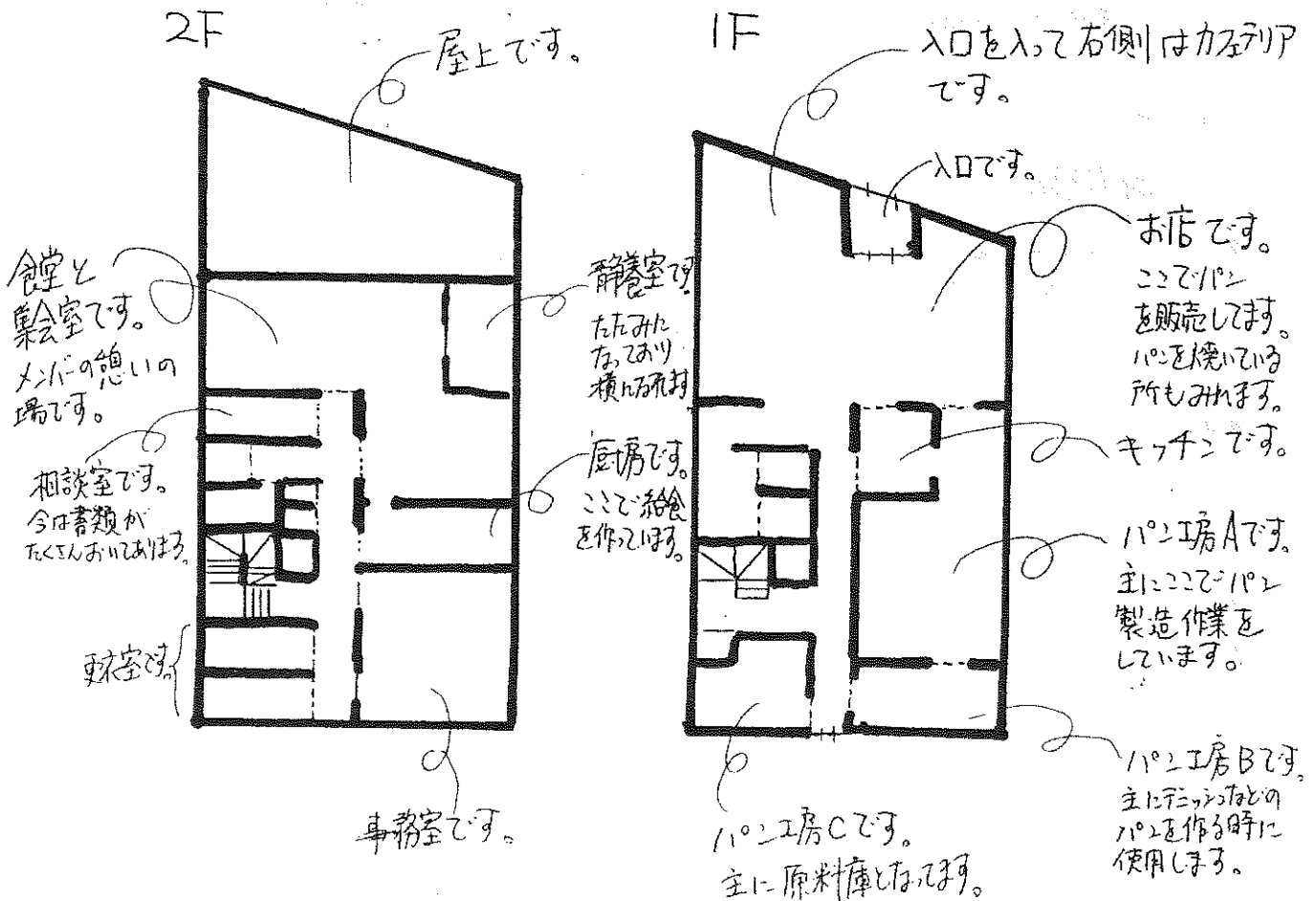
授産施設 食工房ゆいのもりは こんなところです

4月から始めて早4カ月あまり。授産施設食工房ゆいのもりもようやく軌道に乗ってきたかなあというところです。引っ越しして建物が新しくなっただけでなく、みんなの作業や職員体制など作業所時代とは大きく変わりました。

- ・作業内容として従来のパンの製造作業は週4日に増えました。(月～木)
- ・パン製造にあわせて昼12時よりパンの店頭販売も行なっております。
- ・あわせてカフェテリアにてドリンク等の提供を行なっています。
- ・週3日給食が提供されるようになりました。
- ・メンバーの作業もパン製造・販売・給食補助・清掃と幅広くなりました。
- ・職員の増員ができるようになり、新人2名を含む6名となりました。

作業も多岐にわたるようになり、メンバーのみんなも積極的に新しいことにチャレンジしてがんばっています。皆さんも是非一度お立ち寄りください。

食工房ゆいのもり建物図





メンバーにインタビュー！



食工房
ゆいのもり

新生食工房ゆいのもりになって、メンバーの皆さんはどう感じているのか？

メンバーを代表して2人の方（宇宙を愛する中年さん、M・Mさん）がインタビューに答えてくれました。

1：新しい場所・建物に引っ越してきてどうですか？

- ・広くてきれいでとてもいい建物です。だけど広くなってその分そうじが大変ですね。建物の造りとしてとても開放的で仕事への意欲が沸きます。（宇宙を愛する中年さん）
- ・新しい建物になって気持ちも新鮮になり、気分がすがすがしいです。きれいで清潔でとてもよいです。（M・Mさん）

2：新しい仕事はどうですか？

- ・仕事の幅が広がっていろいろできてとても良いと思います。販売や給食の手伝いなどはとても楽しいです。その分覚えることが多いこと、仕事の時間が長くなったことが大変です。（宇宙を愛する中年さん）
- ・仕事の範囲が広がったので、色々分担があって忙しくなったなあと思います。でも1日がとても充実してます。（M・Mさん）

3：給食が提供されるようになりましたが？

- ・以前はコンビニでおにぎりかサンドウィッチでしたが、給食がでることによってバランスの良い食事を200円の自己負担で提供してもらえることがとてもうれしいです。（宇宙を愛する中年さん）
- ・すごくいいことです。栄養士さんがいてカロリーとか考えてみんなの身体のことを思ってくれるから。おいしいし、とてもいいことだと思います。（M・Mさん）

4：職員も3名から6名に増えましたが？

- ・新しく増えた職員さんも以前からいるように親しみがありません。部署が増えてもそれぞれの職員さんがうまく仕事を配分して指導してくれています。（宇宙を愛する中年さん）
- ・みんなやさしくて親切でよい職員さんだと思います。（M・Mさん）

新しくゆいのもりの職員になりました

榎本洋子さん（常勤）

4月の「食工房ゆいのもり」授産施設開設時より勤務しています。新しい建物の中で働くことができ幸せに思っていますが、見学にいらっしゃる方も多く責任の重大さも感じております。前職は一般事務だったため、メンバーさんと話をしたり、パンを作ったりする仕事はとても新鮮です。のんびりした性格で周りの方々に迷惑をかける毎日ですが、早く慣れたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

高橋江理子さん（常勤）

4月から入社しました高橋です。新しい施設、そして職場から見える満開の桜や新緑に迎えられ、私自身気分新たにスタートしました。今は5月から始まった給食の献立から調理・提供までを主な仕事としてますが厨房から食事の様子が見えるだけに喜んでもらえるかとドキドキしてます。今後パンや喫茶と幅広い仕事の中で自分にできることを増やしていきたいと思っています。

ゆいのもり社

メンバー投稿

第5弾!!



アルバイトを始めて

河童男

4月14日から一般の会社で統合失調症をオープンにして清掃のアルバイトを始めました。そこに行く前に障害者職業センターという所で、約2ヶ月間、就労にむけて訓練をしてその紹介でショッピングセンターの掃除を仕事にしています。私が作業所に入って10年の年月が流れました。もういい加減、一人前に近づかないといけないという気持ちで始めました。1日3時間、週休2日の勤務で、この原稿を書いている時点で約4ヶ月間仕事が続きました。毎日、職場の先輩達に尻をたたかれています。いくら障害を理解していただいているとはいっても、要領や物覚えの悪い私は、はっきり言って職場のお荷物ですが、一般就労など夢のまた夢だった10年間の思えば奇跡に近い4ヶ月でした。この原稿が皆さんの目に届く頃まで今の仕事が続いている事と、皆さんの幸せを願い、筆を置きます。



食事の準備

荒井伸一郎

私は、週に火曜日と木曜日に昼食の準備をしている。メニューは御飯ものとめん類とを交互にやっている。御飯ものは、カレーライス、餃子ライス、炊き込み御飯などであり、めん類は、ラーメン、五目うどん、焼きそば、スパゲッティミートソースなどである。私は、昼食を作るのが好きだ。なんていうか、にんじんの皮を剥き、包丁で切る、それを鍋に入れて品目を作る。目的に向かって、層々と準備をして完成させる。そのところに喜びがあるのだ。皆で仕事を分担して、協力しながら料理を作っていくのだ。

ゆいのもり社の料理の味もなかなかです。いつか食べにいらして下さい。特におすすめは、カレーライスです。

☆新職員&新アルバイトのご紹介☆

いわき ひろゆき
☆岩木 宏行☆ (アルバイト)



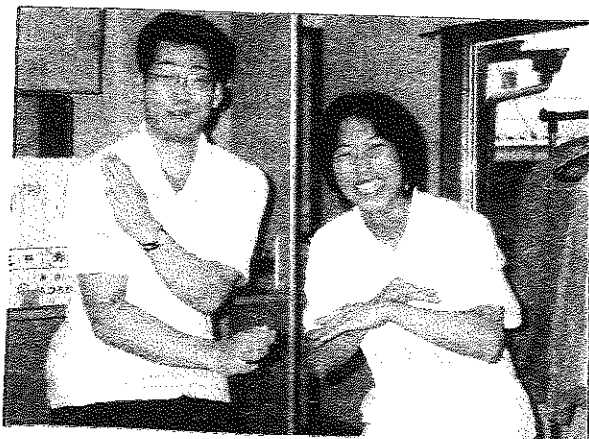
- <出身地> 東京都、多摩地区
- <趣味> ドライブ、パソコン、スポーツ観戦
- <好きな歌手> B o A、ミスチル
- <血液型> え～(A)
- <酔うとこんな人になる>
ちょっとやぞっとじゃ止まらない
マシンガントークが炸裂!!
- <ひとこと> みなさん、よろしくお願ひします!

☆岩木さんってどんな人!??☆

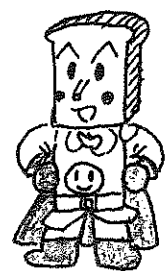
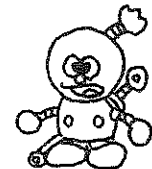
「背が高く、大きな体の元気な人」(前田さん)

「橋原敬之(歌手)に似ていると思いました。酷らか。」(Aさん)

「独特の雰囲気をもつ、とてもとてもユニークな人」(Bさん)



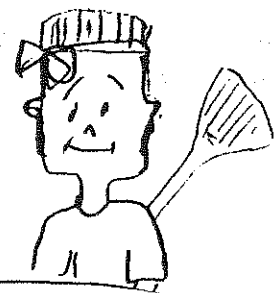
たてダロー



たてダロー～

わがつま やすひろ
◇我妻 康博◇ (新職員)

- <出身地> 東京都、西東京市(旧保谷市)
- <好きなもの・人> 阪神、サッカー、車、松屋、岸部一徳
- <嫌いなもの・他> 電車(酔う)、肉まんの裏のポツポツ、尾藤イサオ
- <似ていると言われたことのあるタレント(?)>
ウルトラマン、スナフキン(ムーミン)、中森明菜



<ごあいさつ>

三月半ばよりゆいのもり社で働かせていただいております。早くも半年近く経ちますが、清掃などでは、いまだにオタオタしてしまうことも多く、メンバーの方に「わがつまさん～そっちじゃなくて次はこっちの仕事ですよ」などと苦笑いされることが度々あります。

そんな不器用なわたくしは、メンバーさん、職員さん、関係者の皆さんの温かいサポートに支えられていると感謝しきりの毎日です。人生の先輩である皆さんからは教わるばかりです。

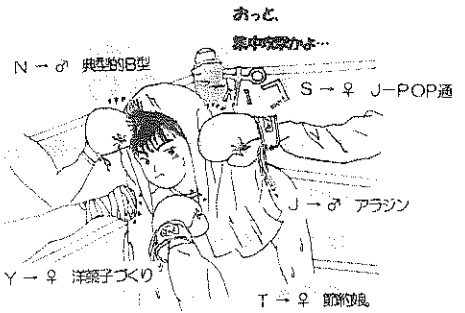
まだまだ経験不足の未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

★浅川は4月より食工房ゆいのもりの授産施設化に伴い施設長として異動いたしました。現在ゆいのもり社は、吉田(所長)、奥田、我妻の3名の常勤体制で運営しております。

■ザ・サード しゃべり場! ■

やさしさと弱さは背中あわせ

NHKの某番組がここに再現!? 台本なし、結論なし、遠慮もなし。熱きトークバトルのゴングが、今、鳴らされる! 以下は、総勢5名のネガティブ(?)な男女たちが企画した、座談会のハイライトシーンです。メンバー4人に職員1人、四捨五入したらみんな30歳です。



「障害」をポジティブにとらえて…

N: 障害をもったことでかえってプラスになったんじゃないかなってもの、なにかありませんか?
 J: …まだわかりません。
 T: この病気の人は、人に優しいですよ。病気の人の気持ちわかるから、みんな優しくしてくれるんだと思う。

J: おれは人に裏切られてから、人を信用することができなくなっちゃったんです。

病気を分かち合える友だち

Y: 友だちができました。病気になったときは1人ぼっちだったけど、今は1人じゃないって思えます。
 T: サードだとしゃべりやすいです。今までは人間関係がうまくいかなかったけど、サードに来てはじめて人間関係がうまくいってる。
 J: ミーティングとかで積極的に発言できるようになったのはサードがはじめてです。
 S: ミーティングの司会をやったことを主治医に話したら、「いい作業所だね」って。

そんな一般社会で生きていく…

T: でも、サードではお皿を割っても許してもらえる。人に傷つくことを言われたとしても謝ってもらえる。でも一般社会ではそういうのはないんですよね。
 Y: わたしは「なまけ病」とか、「努力が足りない」とか言われました。
 J: おれも言われました。
 T: 母親に「Tはもっとがんばれるんだから、しっかりしなさい」と言われるとケンカになっちゃう。がんばりたくてもがんばれない、この病気をもう少し理解してほしい。
 J: 精神分裂病は統合失調症に名前が変わったんですよ。
 S: でも、「統合が失われている」みたいな病名もひどいと思いますね。

「自立」とは?

J: 病気であっても、ひとつ何かを身につければ働けるんじゃないかって思うんですが、みんなどう思う? やっぱ自分の道は自分で切り開いていかないと。
 T: でも、わたしの聞いた話では、人の力を借りても支え合いながら生きていければそれが自立なんだって。
 N: そういわれると自立って難しいことじゃないって思える。

「なんで自分が…」の思い

T: 「なんでこんな病気になっちゃったんだろう…」って、1人になるとどうしても落ち込んでしまう。
 S: (うなずく)
 J: (うなずく)
 Y: (うなずく)

「自信をもて」と言われても…

Y: 一般就労に失敗してるので、サードもまだ続けていけるか自信はないです。
 T: わたしは何をやっても自信をもてない。
 S: わたしは今、ピアノを習っているんですけど、今まではなんでもすぐやめちゃう性格だったのが1年続いている。続けているということが自信になっている。

終了後のつぶやき…

最後まで、人を傷つけ合うようなトークバトルは展開されることはなかった。あとからハツと気づかされたのだが、見方を変えれば、それはつまり、みんなが始終、相手を思いやりながら話をしていたということだ。「もう終わり?」「話すと楽になる」「またやりたい」…ねらいどおりではなかったが、そんな声が聞けたから、やって成功だったと思う。

※ ほかにも好きな歌手のCDを持ってきてみんなで聴く「音楽時間」くつろぎのひとときを「しゃべり場」や、映画上映会、喫茶新メニュー企画を企画した製作陣などを数回掲載。
 「ザ・サード」のゆいのもり21歳はメンバー1人で毎月発行し、もうすぐ1周年を迎えます。

8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	03年 1月	02年 12月	11月
星ヶ池い カラオケ&福生七夕祭	経井沢遊覧旅行 ケキキハイキング	非常勤職員助形あづささん 退職 新築工房カフェテリアへ 手芸クラブ	ソフトボール対外試合 ケキキハイキング	レストランブルノ(小作)見学 ケキキハイキング	いちご新り(ゆいのもり社と合同) ザ・サード/食工房合同喫茶研修 カラオケ	喫茶分ちつと見学 食茶研むら/スペースのびら、喫茶見学 十三福の森プロリ楽団見学	新年会 おしるこを贈る	Yさん(勇性、昭島市)、肝臓がんのため死去 一泊旅行 福島県温泉(ゆいのもり社と合同) クリスマス会	コスモス祭り 出店 昭和記念公園 デイズニード旅行 音楽行事「歌を歌おう!」 (以後12回実施) 喫茶分ちつとザ・サード間で 喫茶生交換(12月) 全国喫茶コーナー交流会参加 福島中学校より音楽生受け入れ
				お花見 羽村動物公園 赤坂スワンベイトカリー見学 木下大サカスガ グリーンフェスティバル(昭和公園)					「ミクロキッズ」入口 (まだワクワク笑顔時…)

喫茶森とザ・サードゆいのもり 21年

■わたしたちの働く店 喫茶森の秘密■

形が悪かったり虫にかじられたり、優等生ではな〜りけれど、味は最高！
有機の野菜と僕らは似ている。



自分はサードに入って丸2年。発病前は大きな食堂でコックをしていた。調理師免許をもっている。「いい材料を使っていますね」が自分の口ぐせ。「ちがいのわかる男」とよく言われます。

でも残念なことに、自分の働くサードのお店「喫茶森」で使っているいい材料と普通の材料の「ちがい」をなかなかお客に気づいてもらえない。まじめに話してもなかなか耳を傾けてもらえないし、自分は口下手な職人気質。碎いてモノが伝えられず歯がゆいです。

でもここでは、「ちがいのわかる喜び」を、芋虫青虫コンビが溷才で伝えてくれるようです。それでは、準備はOK？ よろしく！

———喫茶森、ゴミ箱の中……

芋虫「ここは、喫茶森。この店の残飯は、おいら芋虫にとっちゃあ高級フルコース料理なのさ。だってな、野菜はもちろん、ほかの食品だって有機や無添加のものをたくさん取り入れているんだぜ。よだれが垂れそうだろう？ さ〜て、今夜もひとつ、ゴミ箱を物色させていただくとするか。なあ青虫？」

青虫「ええ。最近ではどこの畑も農薬汚染がすすんでしまってる。デリケートなわたしの口には合わない食べ物ばかりよ。しかもわたしは雑食で、あなたよりグルメときてるし」

芋虫「い〜やいや、おいらのほうはずっとぐる目だ」

青虫「意味わかんないよ！ まあ、お店を選ぶ目は認めるわ。野菜はたしかに有機。でも有機栽培ってたいへんなのよね。『北の国から』でも失敗しちゃったものね。ねえ、あなたはみた？」

芋虫「みるかよ、あんなもの。でも執筆はしてたけど」

青虫「ウソをつけ！ あんたは倉本聡か！」

芋虫「つまり、農業のかわりに愛情をたっぷり散布するってのが有機栽培ってことだろう？」

青虫「パチパチパチ。うまいわね。そうなの。農業を手控えるとすると、それだけコストもかさむし野菜の価格もアップする。喫茶森はそういう食材を取り寄せながら、どうしてあれだけリーズナブルなお値段で食事を提供できるのかしらねえ？」

芋虫「送料と分割手数料をジャパネットが負担してるからだろう？」

青虫「なんの話よ！ それにね、この喫茶森は野菜だけじゃないのよ。このみかんジュースの空き缶の表示を読んでみてよ」

芋虫「え〜と、どれどれ…031012…」

青虫「賞味期限はいいよ！」



芋虫「…“果汁100%国産有機農産物のみかんだけを搾りました”」
青虫「ねっ。でもみかんジュースなんて、野菜しか頼張ったことのない芋虫さんには味わえないものかしら？ おほほほ」

芋虫「なめんなよ。おいらだって飲めるさ。ゴクリ…。うん、たしかに上質を知る人の味だね」

青虫「それはコーヒーのCMでしょ！ もうみかんジュースはいいわ。あなた、ルイボス茶ってご存知？」

芋虫「みくびつてもらっちゃ困るぜ。いいか？ ルイボス茶とは、南アフリカ原産の…」

青虫「ふむふむ」

芋虫「健康にすごくいい粗茶である」

青虫「粗茶って言うな！ このルイボス茶も有機なのよ。これがまたイケるのよ」

芋虫「どれどれ…。ほんとだ、イケる！ だがらしだけどシャキシヤキ歯ごたえがあつて旨いな」

青虫「食べたのかよ、お茶っ葉を！ 食べてみるなら、お豆腐ね。ほら、パッケージには“良質の契約栽培大豆を使用 遺伝子組み換え大豆は使用しておりません”って」

芋虫「“ただし遺伝子組み換えにがりを使用しています”って書いてあるけどね」

青虫「書いてないよ！ あとお薦めなのが、味の決め手のだしパック。中身は完全無添加で、パックは無漂白紙使用。う〜ん、グルメをうならせてくれそうなどころでしょ？」

芋虫「さあね。そんな海のものとも山のものともわからんもの…」

青虫「海のものだよ！ 麩だからね！」

———そうして1時間後…栄養をたっぷり摂った青虫は鮮やかなモンシロチョウと化した———

青虫「あたしを見て。大人になったの」

芋虫「おお…まさしく夜の蝶…」

青虫「そうそう、銀座でホステスやってまして…って、ちがうよ！ 教訓。食べ物でからだのはたらきに差がつくってことね」

芋虫「おいらも見習うぜ。アドバイスしてくれい」

青虫「嫌。わたしはこれから食工房まで高飛びよ。あそこもいものいっぱいあるからね。さようなら。パタパタパタ…」

———このドラマはフィクションです。



喫茶森ではほかにも、完全有機らっきょう漬け、ほんとの果物で作ったかき氷シロップ、国産小麦使用うどんなど、できるだけおいしく安全で健康な食材を仕入れる努力をしております。そんな食材に、メンバー・職員の「チームワーク」や「元気」という隠し味が加わったランチやドリンクを、ぜひ召し上がりにいらっしやってください。ただし、昆虫のみなさまはご遠慮願います。



障害者の就労 助けます！



クジラ

昭島市障害者就労支援事業

チャレンジドステーションクジラ

URL : http://homepage3.nifty.com/c_kujira/

E-mail : c.e.kujira@nifty.com

障害をもちびから就労を希望する人の強い味方、それが「チャレンジド ステーション クジラ」です。「チャレンジド」とは、障害をのりこえてチャレンジするといったイメージ。クジラのオープン初日から利用を始め、就職にこぎつけたメンバーもいます。待ち望まれていたことがわかりますね。

皆様こんにちは、昨年の10月1日より事業を開始いたしました「チャレンジドステーションクジラ」と申します。常勤2名、非常勤2名、パート1名で運営しております。

わたしたちは、チャレンジド（障害者）の就労面の支援を主な目的とし、生活面も含めた総合的な支援を行うために昭島市より事業委託され、市内約20の福祉団体の協賛を受けて活動しております。

対象者は障害種または、障害者手帳の有無に関わらず、「一般就労に関わる支援の必要とする人（昭島市在住者）」としており、幅広くご利用いただけます。

また、チャレンジドが生き生きと働き続けられるよう、企業や事業所への働きかけとして雇用相談・マッチングの支援・採用後の支援も行っております。

チャレンジドの就労とその定着は決して安易ではありませんが、その課程で抱える問題を一つひとつ解決し、チャレンジドが快く働ける場を提供できるよう支援して参ります。

あなたの輝かしい未来へ向けて！

<事業所>

昭島市拝島町 2-4-26 拝島保育園 2F

TEL/FAX : 042-545-1758

<ご相談の受付>

月曜日～金曜日（祝祭日除）9:00～16:30

費用は無料です。



【お花見会：昭和記念公園】

☆☆☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆☆☆

ゆいのもりでソフトボールの試合をしましたが、みなさんよく打ち、よく守り、よく走るので驚き圧倒されました。動きでは完全に負けました。みなさんの数々のファインプレーに、次回は負けないぞと味方にも闘志を燃やしています（小笑）。（わ）